

純正 アクリルバイザー

取付/取扱 説明書

適用車種：MAZDA PREMACY
部品番号：C513 V3 700

この度はマツダ純正用品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
取付け作業を開始する前に、本説明書を必ず読んでください。
常に最良の状態でご使用いただくために、本説明書をよくお読みいただき、内容を理解された上で正しい取付けを行ってください。

<ご注意とお願い>

●本説明書に示されている **⚠** 警告マークと **⚠** 注意マークは、取付け、取扱いに関する安全上の事項ですので、必ず厳守してください。

⚠ 警告：警告事項を守らないと生命の危険、または重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意：注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷したりするなどのおそれがあります。

- 本説明書に記載されていない取付け、使用方法は絶対に行わないでください。
- 本商品を改造しての取付けは、絶対に行わないでください。
- 作業の安全性と信頼性確保のため、取付け・取外し・廃却の作業は、必ずマツダ販売店にて実施してください。
- 本商品の取付け、取扱い内容につきまして、ご不明な点がございましたら、商品購入先の販売店にお問い合わせください。
- 記載事項を守らなかった為に発生した不具合につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取外した部品の紛失や傷つき、脂などの異物付着がないよう、十分注意してください。

取付け販売店の方へ

取付け完了後、本説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へ

- 本説明書は、他の用品装着時に必要となる場合がありますので取付け完了後も大切に保管してください。
- 本商品を他のお客様にお譲りになる場合は、必ず本説明書もあわせてお渡しください。

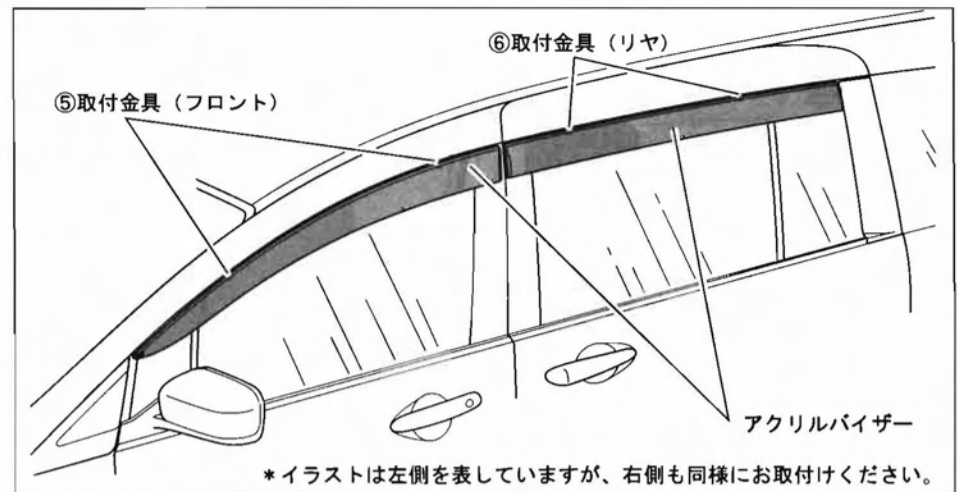
マツダ株式会社

広島県安芸郡府中町新地3-1

YP-32

-1-

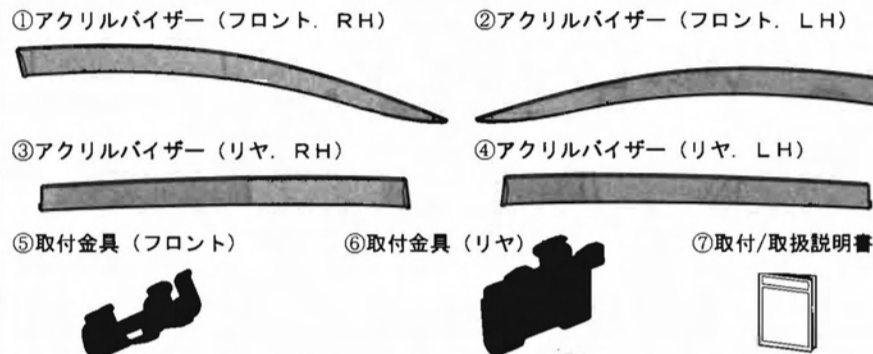
1. 完成図



2. 構成部品

⚠ 注意

●構成部品表の部品が全部あるか、また汚れ、傷、損傷がないか確認してください。



部品名	部品構成
アクリルバイザー セット	①、②、③、④、⑤×4、⑥×4、⑦
アクリルバイザー-F. RHセット	①、⑤×2
アクリルバイザー-F. LHセット	②、⑤×2
アクリルバイザー-R. RHセット	③、⑥×2
アクリルバイザー-R. LHセット	④、⑥×2
取付金具セットF	⑤×2
取付金具セットR	⑥×2

YP-32

-2-

3. 取付け作業前の確認事項

1. 使用工具
☆ウェス(やわらかい布) ☆ホワイトガソリン等 ☆ドライヤー(気温が低い場合に使用します。) ☆輪止め ☆リムーバー

⚠ 警告

●車両は平坦な場所へ停め、サイドブレーキをしっかり引き、輪止めをセットして作業を行ってください。輪止めがセットされていないと作業中に動き出し、ケガの原因となります。

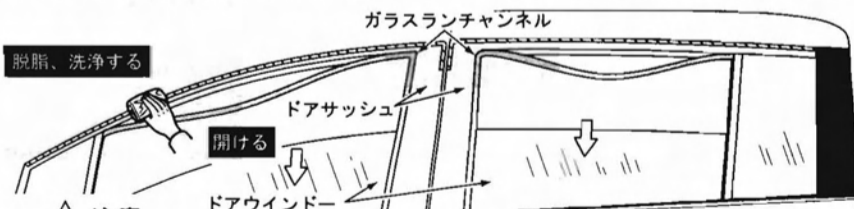
⚠ 注意

●取付環境温度は、常温(約24℃)での作業を推奨します。特に夏期、冬期は、気温によりアクリルバイザー全長が変化し、取付寸法が変わるため、製品温度が基準(15℃~35℃)からはずれないように調整(暖めたり、冷やしたり)し、取付寸法からはみ出しに注意してください。

4. アクリルバイザー取付けの準備

取付け面の拭き取り

1. 全てのドアウィンドーを開けます。
2. ガラスランチャネルを外し、アクリルバイザー(以下バイザーとする)を取付けるドアサッシュ部(図の斜線部)を脱脂、洗浄(ホワイトガソリン等)し、完全に乾燥させます。

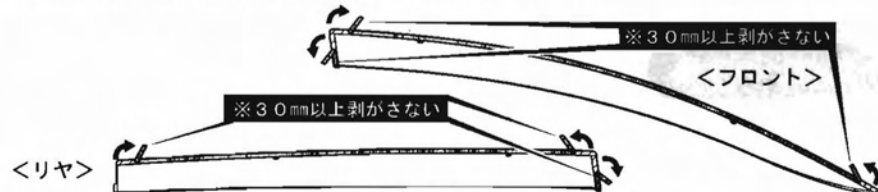


⚠ 注意

- 取付け面の汚れ、ワックス、油分は必ず拭き取ってください。拭き取らないと、両面テープの接着力が著しく低下し、剥がれたり、脱落する恐れがあります。
- リアドアのガラスランチャネルは、外しにくいので、リムーバーを使用し取り外してください。

取付け前準備

1. 離型紙を下図の様に20~30mm剥がし、外側へ折り曲げます。



⚠ 注意

- 離型紙を剥がした接着部はさわらないでください。接着力が低下します。
- 離型紙を必要以上剥がすと、取付け位置決めの際、バイザーが動かなくなり、正しい取付けができませんので、30mm以上剥がさないでください。

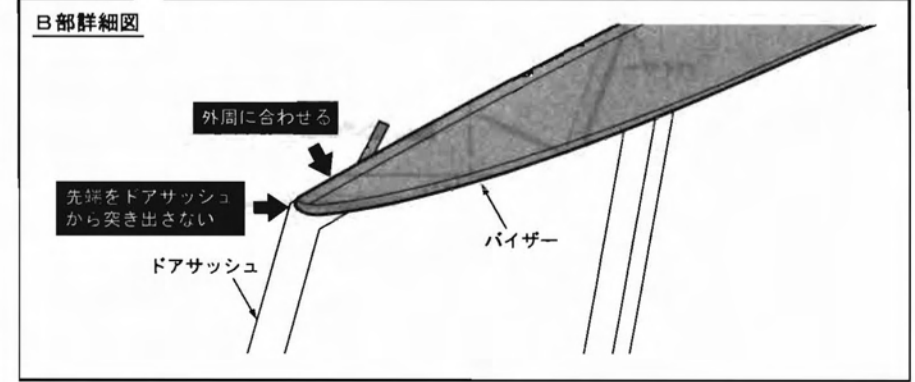
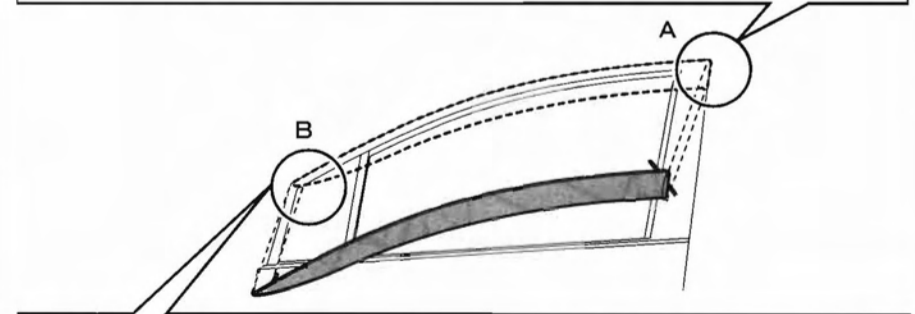
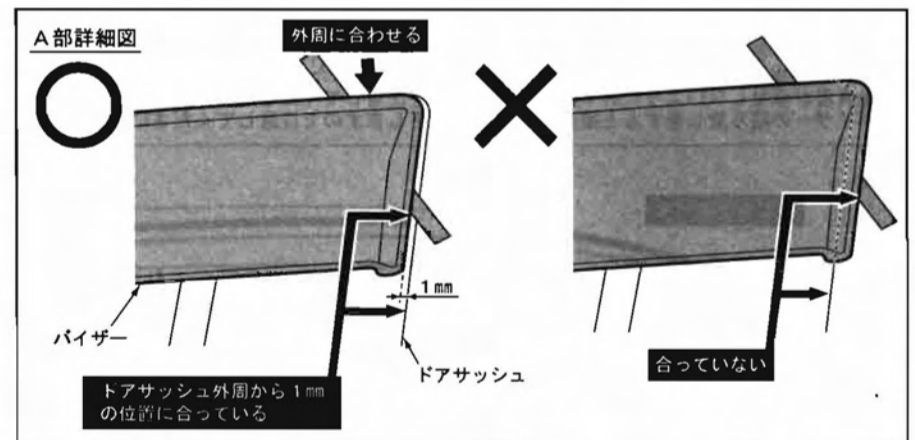
-3-

YP-32

5. アクリルバイザー仮取付け

バイザーの仮取付け<フロント>

1. バイザー後側の上端をドアサッシュの外周に合わせ、後端がドアサッシュ外周から1mmの位置に合せ仮止めします。
2. バイザー前側の上端をドアサッシュの外周に合わせ仮止めします。

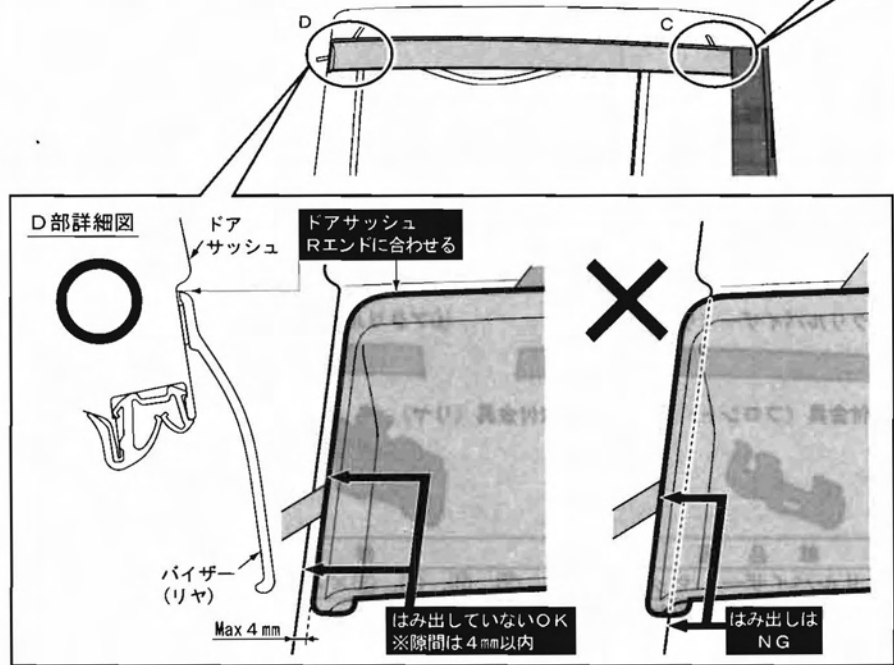
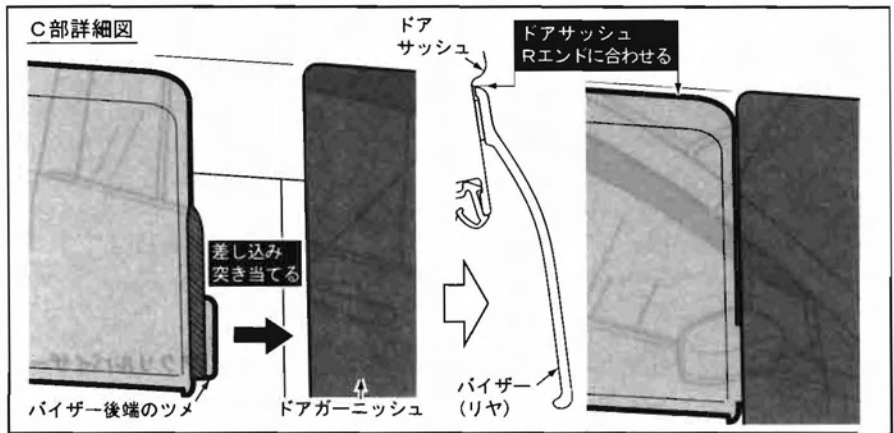


-4-

YP-32

バイザーの仮取付け(リヤ)

1. バイザー後端のツメ部分をドアガーニッシュに差し込み突き当て、上端をドアサッシュRエンドに合わせ仮止めします。
2. バイザー前側の上端をドアサッシュRエンドに合わせ仮止めします。



アドバイス

●仮取付け後、前後・上下位置がバランスよく取付いていることを確認してください。

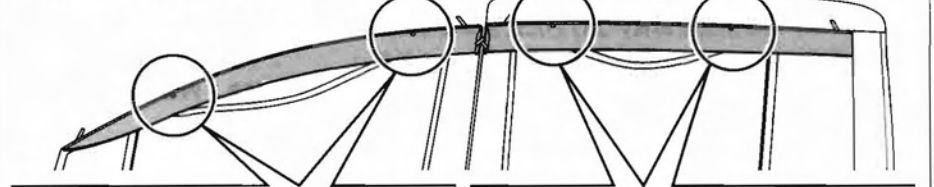
6. アクリルバイザー本取付け

取付金具の取付け

注意

- 取付金具(以下金具とする)の取付けはバイザー接着の前に行ってください。後で行うとバイザー取付け位置がずれ、金具が取付かなくなるおそれがあります。
- 金具を取付け易くする為、バイザーを軽く押さえドアサッシュと両面テープ部の隙間を無くしてください。

1. ⑤金具(フロント)、⑥金具(リヤ)をドアサッシュとバイザー(取付け穴部分)へ、はさみ込むように差し込む。

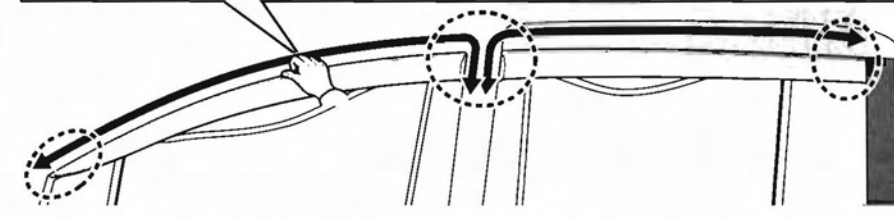
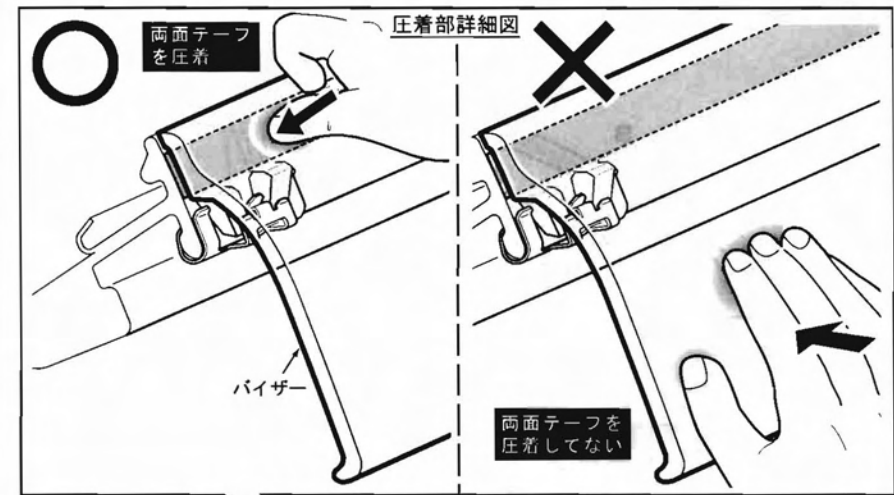
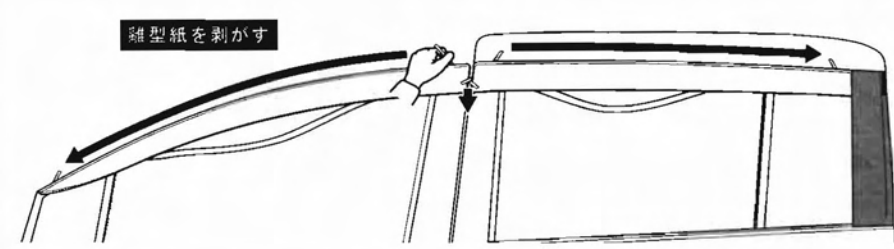


バイザーの接着

- 貼り付け前に以下の順序に従ってチェックしてください。
 1. ドアサッシュとバイザーが正確に位置決めしてあるか。
 2. 正しく金具が組み付いているか。
 3. ドアの開閉で干渉しないか。
- ☆上記1.~3.で問題があれば再度位置決めをしてください。
- ★1.~3.の条件がOKであれば、バイザーをドアサッシュに合わせながら、予め剥しておいた離型紙を矢印の方向にねじれない様に剥し接着し、バイザーを完全に圧着します。

注意

- 両面テープ部をまんべんなく十分に圧着してください。特に④部の圧着不足は、剥がれや水入り、風切り音の発生の原因になります。また、圧着の際は、バイザーの金具座が破損しないように必ず両面テープ位置を圧着してください。
- バイザーの貼り直しをすると接着力が著しく低下しますので注意してください。

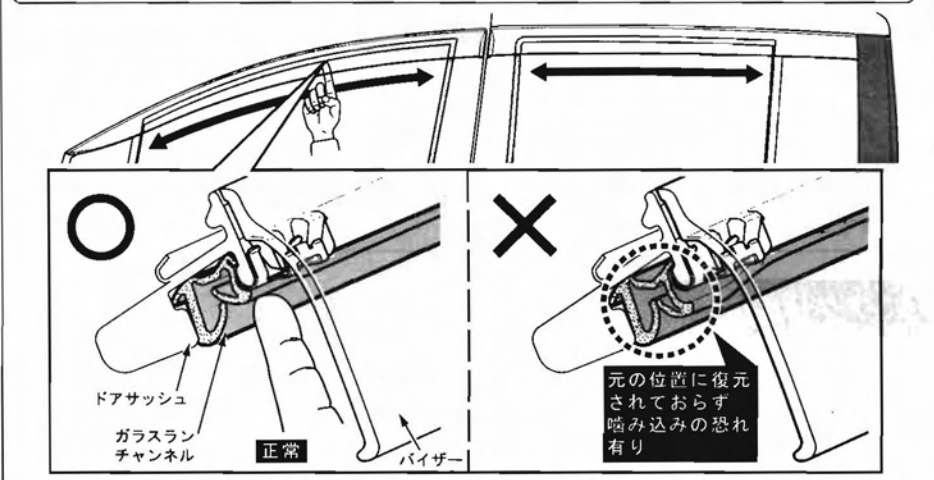


ガラスランチャンネルの復元

1. ガラスランチャンネルを戻し、指でドアサッシュ、金具になじませます。

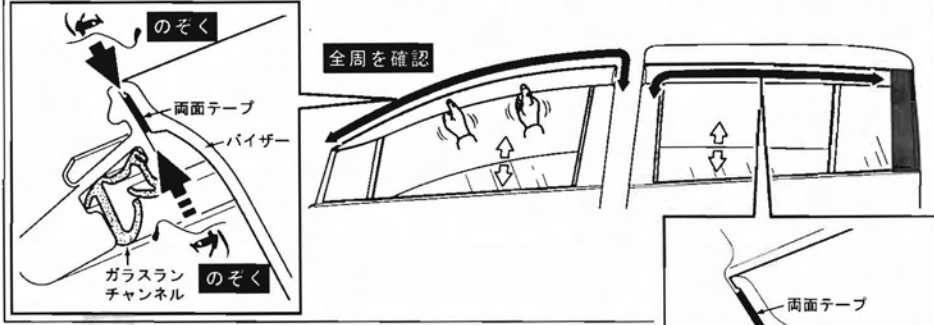
注意

- ガラスランチャンネルを元の位置に復元しないと、噛み込みの原因となります。
- 復元の際は、金具でケガをしないよう注意してください。



取付け後の確認

1. 両面テープ部全周を上下からのぞき込み、浮きがない事を確認します。
2. バイザーを軽く手前に引き、確実に取付いている事を確認します。
3. ドアウインドーを上下させ、ガラスランチャンネルの噛み込みや異音がない事を確認します。



7. 取扱いの注意

1. バイザーが汚れたときには、柔らかな布等に中性洗剤を浸し軽く拭いてください。(シンナー、ベンジン、ガソリン等の有機溶剤は絶対に使用しないでください。樹脂を侵し変色変質等、劣化の原因になります。)
2. バイザーが剥がれるおそれがありますので取付け後、24時間は、力を加えたり洗車(洗車機及び高压洗車)は、おやめください。

この商品についてご不明な点がございましたらご購入販売店にお問い合わせください。

架装点検シート

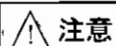
MAZDA PREMACY

アクリルバイザー

C513 V3 700

A. 車両部品の点検

- ・車両部品の点検を下記項目に従って行ってください。



●ガラスランチャンネルに浮きや外れ箇所がなく、ドアサッシュの奥まではめ込んであるか室内側からチェックしてください。万一浮きがある場合は再度押し込んでください。

●運転席パワーウィンドーを「AUTO」で閉じて※自動反転機能が誤作動しないかチェックしてください。万一誤作動した場合は、金具が正しくセットされているか確認してください。（※自動反転機能とは：AUTOでウィンドーを閉じる時に、手や指などがはさまれると、自動的にウィンドーが開く安全装置です。）

チェック欄

--

B. 作業完了後の点検事項

- ・取り付けた部品及び取り外した部品の復元後の点検を下記項目に従って行ってください。

点検箇所	点検項目（○印）			
	隙、折り合い	傷、汚れ、テープ残り	締め付け、かん合	作動確認
アクリルバイザー本体、両面テープ	○	○		
取付金具			○	
ガラスランチャンネル			○	
ドアウィンドー		○		○
ドア（サッシュ）	○	○		

アクリルバイザー 架装チェック

日付け		年	月	日
車体No.				
責任者		チーフ		担当

※本シートの保存期間：12か月